

三本柱
あいさつ
返 事
掃 除

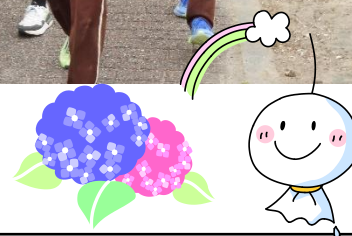
六華

教育目標
「自ら学び広い心で
心身を鍛える生徒」

完歩大会特集

25.6 kmウォーク

直前まで気温の高い日が続いていましたが、当日は歩くのにはちょうど良い気候でした。途中から降り出した雨にも負けずに、生徒たちは、仲間と励ましあいながら、25.6 kmを力強く歩き切りました。



完歩大会の感想

1年生

僕はこの前期最初の全校活動である完歩大会に参加してみて感じたことが2つあります。1つ目は協力の大切さです。少し足が痛くて自然と同じ班の人から離れてしまった時がありました。そして班のみんなは次の信号などで待っていてくれました。本当にうれしかったです。2つ目は先輩の凄さです。道中で先輩に会うことが多々ありました。僕は足が痛くなっていました。けれど先輩たちは、まったくきつそうにせず歩いていてすごかったです。僕もあと2年あるので先輩たちみたいになりたいです。来年の完歩大会も楽しみです。

2年生

完歩大会を振り返ってみると「超楽しかった」の一言につきます。私たちの班は先頭集団にいて、少し遅れることがあっても「前行こう!」と、お互いに声を掛け合いました。疲れていてもネガティブな発言はしないようにして、とにかくみんなで楽しく歩きました。そのおかげで昨年よりも速いペースでゴールをすることができました。私は完歩大会を通して、仲間との協力の大切さを学びました。



3年生

僕は、今年の完歩大会では、第二チェックポイント辺りから班のみんなとゴミ拾いをしながら歩いて、飴の袋ではなく空き缶などのゴミが多くてびっくりしました。今まではあまり道に落ちているゴミを意識することがなかったけど、意識して見てみるとたくさん落ちていることが分かりました。なので、これからはポイ捨てしている人を見かけたら積極的に注意したいと思いました。

職員 菊地 亮平

東石山中学校にこの春転勤してきて最初の大きな学校行事。完歩大会。1年生の先頭の役割を担った。道中1年生と話をしながら完歩することができた。先頭集団は「先生より前に出ちゃダメだよ」や「歩道からはみ出さないで」と互いに声を掛け合う姿が見られた。そのような互いに決まりを守ろうとする姿勢に非常に頼もしさを感じた。この先の1年生の更なる成長が楽しみだと感じた1日だった。



PTA コーナー

令和5年度 PTA 総会

5月12日に令和5年度のPTA総会が開催されました。今年度の事業計画や予算について議論、承認されました。今年度は学校だより「六華」の紙面を活用してPTAの活動の様子や活動に参加した保護者の皆様の感想等をお伝えしていきます。



令和5年度 PTA 四役

「交わり」

PTA 会長 石川 博久

しばらく続いた閉塞感漂う時期も終息を迎えました。本年度のPTA活動として、文化教養部主催の講演会や広報部による、よりタイムリーな広報誌、総務部主催の先生との交流スポーツ大会など例年になく事業を計画し、準備を進めていただいています。「交わる」がポイントとなる本年度のPTA活動に是非参加して頂き、生き生きとした学校、子ども達を間近で見たいと思います。

本年度も皆様からPTA活動への深いご理解と熱いご協力を賜り、素晴らしい1年にしていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

「新たな時代のPTAを共に創る」

校長 永井 一哉

PTAは、保護者と教職員が協力して子どもの健やかな育ちを支援するための組織です。

ここ数年、コロナ禍で様々な活動が制限されてきましたが、再び活動を広げることができるようになりました。東石山中学校でも、石川会長のリーダーシップの下で活動を推進するとともに、これからの時代に合ったPTAの組織や活動について考えていければと思っています。

保護者と教職員は、子どもを真ん中に置いた車の両輪です。そのためにも、お互いの距離を近くに保ちながら、共に語り、活動することを通して、PTA活動の価値やよさ、楽しさを実感・共有していけたら最高ですね。そんなPTAと一緒に創っていきましょう。